

ごみがおもちゃにへんしーん！

■プログラムの概要

ねらい	ごみをすてると地球が困ること、捨ててしまうごみをすてきに変身させておもちゃになることを知らせ、実際につくることにより、ものをだいに使うことを知らせる。		
キーワード	ごみ・資源		
対象	幼児～小学2年		
時間	30～50分	実施場所	ホールや教室など
使用するもの	ヨーグルトの空き容器、ペットボトルキャップ、ビニールテープ、たこ糸、飾りに使う型抜き色紙やシールなど、セロハンテープ		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入2. クイズ クイズを解きながら、紙芝居のお話を聞く。 3歳以下がお話を聞いていればここで終わり。3. けん玉づくり 4歳以上は、ごみを変身させたけん玉を作る。4. ふりかえり ものをだいに使うことを約束する。		

■進め方

時間	内容	指導上の留意点
5分	<p><導入> あいさつ、全体の流れの説明</p>	
25分	<p><クイズ> パワーポイントを使った説明。 <ul style="list-style-type: none"> • ペットボトルなど再生できるごみがある。 • ごみが増えると地球が困る。 • ごみとして捨てているものでもおもちゃに変身させられる。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> • いつも子どもたちが捨てているごみの捨て方で気になることなどをクイズに入れ込むとよい。 (例えば、大きな紙のはしっこに小さな絵を描いただけですててしまうのはもったいないとか、水筒を持参しているのはごみを減らすことにつながる…等)
30分	<p><けん玉づくり> <ul style="list-style-type: none"> • 4歳児、5歳児は各教室に戻り、工作を始める。ヨーグルトやゼリー、プリンなどが入っていた容器と、ペットボトルキャップとたこ糸、セロハンテープ（またはビニールテープ）を使って、けん玉づくりをする。 • 時間があれば、周りに飾りを付けたり、遊んだりする。 • できたけん玉で遊ぶ。(後日でも可) </p>	<ul style="list-style-type: none"> • ビニールテープは、ヨーグルトの底面の周囲やペットボトルキャップの周囲の長さに切った物を、張ってはがせる素材の板状（クリアファイルなど）のものに、あらかじめ班ごとに張っておく。
5分	<p><ふりかえり> 最後にごみの分別の約束をする。</p>	

■使用するもの

物品名	数量	備考
ゼリーやヨーグルトの空き容器	1人2個	
ペットボトルキャップ	1人2個	1個に穴を開け、たこ糸を通しておく
たこ糸 40~50cm	1人1本	子どものやりやすい長さに調節する
型抜きした色紙、セロハンテープ	班に1セット	型ごとにヨーグルト容器に入れておく。あまったシールでも良い
ビニールテープ	適宜	飾り用
パソコン、プロジェクター、スクリーン	各1台	用意が困難な場合はパワーポイント資料を印刷し、紙芝居する。